

平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月12日

上場取引所 大

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部課長

(氏名) 堀之内 弘

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成24年3月13日

配当支払開始予定日

平成24年4月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	8,881	18.5	556	47.4	558	45.4	301	44.0
23年7月期第2四半期	7,496	—	377	—	383	—	209	—

(注)包括利益 24年7月期第2四半期 326百万円 (40.3%) 23年7月期第2四半期 233百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	101.45	—
23年7月期第2四半期	68.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	8,963	—	1,930	—	—	21.5
23年7月期	6,663	—	1,634	—	—	24.4

(参考)自己資本 24年7月期第2四半期 1,928百万円 23年7月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年7月期	—	7.00	—	8.00	円 銭	15.00
24年7月期	—	7.00	—	—	円 銭	—
24年7月期(予想)	—	—	—	8.00	円 銭	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	13.3	210	—	210	—	120	—	40.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	3,060,110 株	23年7月期	3,060,110 株
24年7月期2Q	104,341 株	23年7月期	82,518 株
24年7月期2Q	2,975,582 株	23年7月期2Q	3,057,598 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

※当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成24年3月23日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会(東京)
- ・平成24年3月27日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会(札幌)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サプライチェーンの立て直しが進み、平成23年度7-9月期の実質GDP成長率が3四半期ぶりにプラス成長に転じるなど、震災の影響から緩やかな持ち直しの動きが続いております。しかし一方で、タイの洪水による影響、長引く円高、欧州の金融不安が金融資本市場に影響を及ぼしていること等、景気の下振れリスクは高く、未だ先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが位置する印刷業界におきましても、企業の広告宣伝費の抑制姿勢が強まる中、電子書籍端末やタブレット端末の普及が加速し紙媒体の減少傾向が継続していること、さらには原材料の価格動向が不透明な状況となっており厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、商業印刷事業における受注拡大を目指すとともに、年賀状印刷事業におきましては、大口取引先である郵便局株式会社からの受注に対応すべく生産体制の強化を図り、事業の運営に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,881百万円（前年同四半期比1,385百万円増）となりました。

利益につきましても、年賀状の販売が好調に推移した結果、営業利益は556百万円（前年同四半期比179百万円増）、経常利益は558百万円（前年同四半期比174百万円増）、四半期純利益につきましても301百万円（前年同四半期比92百万円増）と、それぞれ増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存クライアントとの取引拡大の推進を行った結果、当事業の売上高は5,112百万円（前年同四半期比200百万円増）となりました。

しかしながら、利益につきましても、事業拡大に伴う人件費の増加等により、営業損失は173百万円（前年同四半期比の営業損失は87百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、パック年賀状の取扱件数は200万パックと前年同四半期比120万パックの減少となりましたが、名入れ年賀状の取扱件数につきましても、郵便局株式会社の大口受注に伴い、前年同四半期比46万件増加の127万件となったことから、当事業の売上高は3,745百万円（前年同四半期比1,188百万円増）と、増収となりました。

また、利益につきましても、営業利益は866百万円（前年同四半期比257百万円増）と増益となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は23百万円（前年同四半期比4百万円減）、営業損失は5百万円（前年同四半期比5百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,299百万円増加しました。これは主に現金及び預金が678百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が488百万円増加したこと、年賀状印刷事業に伴い年賀はがき等の原材料及び貯蔵品が137百万円、立替金が412百万円増加したこと、未収入金が70百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は7,032百万円となり前連結会計年度末に比べ2,003百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業等に伴う支払手形及び買掛金が296百万円増加したこと、短期借入金が1,278百万円増加したこと、未払法人税等が249百万円増加したこと、未払金が167百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は1,930百万円となり前連結会計年度末に比べ295百万円増加しました。これは主に利益剰余金が278百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は2,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は28百万円(前年同四半期は330百万円の支出)となりました。これは主に売上債権の増加が485百万円、たな卸資産の増加が123百万円、立替金の増加が412百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、税金等調整前四半期純利益が537百万円、減価償却費が165百万円、仕入債務の増加が297百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は267百万円(前年同四半期は305百万円の支出)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出が188百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は917百万円(前年同四半期は1,578百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純増額が1,400百万円あったこと等により資金が増加したのに対して、長期借入金の返済による支出が431百万円、配当金の支払いが23百万円あったこと等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の業績予想につきましては、平成23年9月12日付「平成23年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定の実効税率は従来の40.40%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.71%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.33%となります。この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,305	2,310,806
受取手形及び売掛金	※1 1,446,386	1,935,063
有価証券	—	23,035
商品及び製品	10,950	4,259
仕掛品	12,011	4,247
原材料及び貯蔵品	286,346	424,212
その他	90,958	810,438
貸倒引当金	△26,706	△25,625
流動資産合計	3,452,252	5,486,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	753,742	744,449
土地	972,492	972,492
その他(純額)	606,420	747,474
有形固定資産合計	2,332,655	2,464,416
無形固定資産		
のれん	—	575
その他	94,988	173,396
無形固定資産合計	94,988	173,971
投資その他の資産		
投資有価証券	453,197	489,550
関係会社株式	15,460	15,352
その他	343,287	361,447
貸倒引当金	△27,954	△27,830
投資その他の資産合計	783,991	838,521
固定資産合計	3,211,634	3,476,909
資産合計	6,663,886	8,963,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※1 1,329,615	1,625,635
短期借入金	785,486	2,064,138
未払法人税等	7,869	257,777
賞与引当金	10,366	10,762
その他	330,136	770,338
流動負債合計	2,463,473	4,728,651
固定負債		
長期借入金	2,025,617	1,715,713
資産除去債務	7,441	7,519
その他	532,457	580,847
固定負債合計	2,565,515	2,304,080
負債合計	5,028,989	7,032,731

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	441,153	441,153
利益剰余金	734,588	1,012,654
自己株式	△22,349	△29,115
株主資本合計	1,565,312	1,836,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,607	92,136
その他の包括利益累計額合計	61,607	92,136
少数株主持分	7,976	1,866
純資産合計	1,634,897	1,930,614
負債純資産合計	6,663,886	8,963,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	※ 7,496,119	※ 8,881,404
売上原価	5,158,629	5,977,157
売上総利益	2,337,490	2,904,247
販売費及び一般管理費		
運賃	352,008	569,242
給料及び手当	690,972	747,233
賞与引当金繰入額	8,311	8,812
その他	908,772	1,022,506
販売費及び一般管理費合計	1,960,063	2,347,795
営業利益	377,426	556,451
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	3,037	3,539
受取賃貸料	12,541	15,805
作業くず売却益	9,007	9,015
貸倒引当金戻入額	—	1,205
その他	18,887	17,251
営業外収益合計	43,496	46,840
営業外費用		
支払利息	32,848	31,965
持分法による投資損失	3,958	108
為替差損	33	12,634
その他	82	144
営業外費用合計	36,923	44,853
経常利益	383,999	558,438
特別利益		
固定資産売却益	20	—
貸倒引当金戻入額	10,881	—
その他	79	—
特別利益合計	10,981	—
特別損失		
固定資産除却損	7,444	16,876
投資有価証券評価損	—	4,187
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,287	—
特別損失合計	11,731	21,064
税金等調整前四半期純利益	383,248	537,374
法人税、住民税及び事業税	152,559	249,995
法人税等調整額	24,674	△9,069
法人税等合計	177,233	240,925
少数株主損益調整前四半期純利益	206,014	296,448
少数株主損失(△)	△3,606	△5,438
四半期純利益	209,621	301,886

(四半期連結包括利益計算書)
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	206,014	296,448
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	26,995	30,528
その他の包括利益合計	26,995	30,528
四半期包括利益	233,010	326,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,616	332,415
少数株主に係る四半期包括利益	△3,606	△5,438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,248	537,374
減価償却費	169,577	165,889
のれん償却額	1,259	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,881	△1,205
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,305	395
受取利息及び受取配当金	△3,060	△3,562
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,187
固定資産売却損益 (△は益)	△20	—
固定資産除却損	7,444	16,876
支払利息	32,848	31,965
為替差損益 (△は益)	—	12,634
持分法による投資損益 (△は益)	3,958	108
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,287	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△719,018	△485,644
たな卸資産の増減額 (△は増加)	32,399	△123,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46,858	297,333
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,429	64,175
その他	△240,211	△451,526
小計	△352,902	65,600
利息及び配当金の受取額	3,060	3,562
利息の支払額	△35,164	△32,720
法人税等の支払額	—	△8,091
法人税等の還付額	54,040	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△330,965	28,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△255,745
有価証券の売却による収入	—	211,743
有形固定資産の取得による支出	△286,485	△170,048
有形固定資産の売却による収入	915	—
投資有価証券の取得による支出	△8,707	△3,826
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	*2 △8,905	—
無形固定資産の取得による支出	△8,143	△18,799
差入保証金の差入による支出	—	△32,201
差入保証金の回収による収入	18,369	12,952
子会社株式の取得による支出	△2,340	△1,257
その他	△9,780	△10,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305,078	△267,196

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500,000	1,400,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△383,816	△431,252
リース債務の返済による支出	△14,996	△20,960
少数株主からの払込みによる収入	1,300	—
配当金の支払額	△24,319	△23,665
その他	△5	△6,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,578,162	917,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	942,085	678,500
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,521	1,632,305
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39,958	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,133,565	※1 2,310,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,912,306	2,556,376	7,468,682	27,436	7,496,119	—	7,496,119
セグメント間の 内部売上高又は振替高	19,819	1,270	21,089	2,824	23,914	△23,914	—
計	4,932,126	2,557,646	7,489,772	30,260	7,520,033	△23,914	7,496,119
セグメント利益 又は損失(△)	△87,762	608,058	520,295	177	520,472	△143,046	377,426

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,046千円には、セグメント間取引消去2,599千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,646千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社味香り戦略研究所の株式を追加取得したため、「商業印刷事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において916千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,112,860	3,745,371	8,858,231	23,172	8,881,404	—	8,881,404
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,594	3,371	15,965	1,959	17,924	△17,924	—
計	5,125,454	3,748,742	8,874,197	25,131	8,899,329	△17,924	8,881,404
セグメント利益 又は損失(△)	△173,355	866,023	692,668	△5,084	687,584	△131,132	556,451

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△131,132千円には、セグメント間取引消去2,965千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,097千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社味香り戦略研究所の株式を追加取得したため、「商業印刷事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において585千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

該当事項はありません。